

平成16年12月 検定試験

〔No.31〕 外部電源を用いているスイッチ駆動アクチュエータ(マイナス駆動回路)の故障診断に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) アクチュエータが停止している場合、エンジンECUの駆動端子とボデー間に電源電圧が発生したままのときは、電源とエンジンECUの駆動端子間に異常が発生している可能性がある。
- (2) アクチュエータの両端を測定し、ON時は約 10V以上の電圧が発生し、OFF時には電圧が発生しなければ正常である。
- (3) アクチュエータの電源端子とボデー間を測定し、電圧が発生していなかったり、アクチュエータが作動しているときに電圧が変動すれば、アクチュエータとエンジンECUの駆動端子間に異常が発生している可能性がある。
- (4) アクチュエータのエンジンECU側端子とボデー間を測定し、アクチュエータが停止しているときに電源電圧が発生し、アクチュエータが作動しているときに約 10V以上の電圧になっていれば正常である。